

【説明資料】 発明・工夫作品コンテスト 製作の動機または目的、利用方法、作品自体やその製作過程で工夫したことを、文章、写真、図などで説明。この用紙1枚に記入後、PDF ファイルを作成。

学校名	岐阜大学	個人・グループ名	伊藤嘉昭	作品名	釘接合のビデオ教材
-----	------	----------	------	-----	-----------

・目的

手元で行う作業は生徒に提示しにくい性質を持っている。のこぎり引きや釘接合など技術にはどうしてもそういう性質のものが付きまとう。手元で行う作業は今まで、教師が机の上で模範したり、実際生徒に切らせるなど実習する性質が強くどうしてもすべての生徒が見やすくあるべきであるはずがそうではなかった。

今回はそれを解消するために釘接合についてのビデオ教材を開発した。

・利用方法

スクリーンなどの機器に映し出すことで、どこの位置にいる生徒も、釘接合のビデオ内容を見ることができる。

もし、教材内に説明が足りない場合は、動画を止めて、静止画にし説明を付け加えることができる上、教師が模範している訳ではないので、ビデオ教材ならではの生徒の反応を見て、教材の改良を加えることができる。

・工夫したこと

ビデオ教材ならではの利点を生かし、説明をゆっくり短くまとめ、汎用性を高めた。釘接合自体は流れる作業でやってしまえばそれまでなので、ポイントを絞って、簡単なテーマ別に分けて、わかりやすくした。

動きを少し大げさにすることで、それぞれの生徒ができるだけ一回で理解できるようにした。

